

- 問1 源頼朝が鎌倉幕府を確立していく過程で、全国の土地支配を強めるために実施した政策の背景について述べた文章のうち、正しいものはどれですか。 (2024年 山形県公立入試 類似)

1. 蒙古襲来に備えるため、恩賞として与える土地を確保する目的で、全国の荘園に地頭を配置し直した。

2. 検非違使や押領使といった朝廷古来の役職を幕府の統制下に置くことで、全国の武士を直接支配する仕組みを整えた。

3. 源義経との対立をきっかけに、朝廷から守護・地頭の設置を認めさせることで、各地の荘園や公領への影響力を確保した。

4. 承久の乱で後鳥羽上皇を破ったのち、西日本の貴族の領地を没収するために守護・地頭の制度を初めて導入した。
- 問2 分割相続などの影響で生活が苦しくなった御家人を救済するため、1297年に鎌倉幕府が出した「永仁の徳政令」の内容として正しいものを選びなさい。 (2017年 香川県公立入試 類似)

1. 蒙古襲来の戦功に応じた十分な恩賞を与えるため、西国の公家から土地を取り上げて配分する。

2. 御家人が借金の担保として質に入れたり、売却したりした所領を、無償で取り戻させる。

3. 御家人の借金を帳消しにする代わりに、今後一切の貨幣の使用や商業活動を禁止する。

4. これ以降の分割相続を一切禁止し、すべての所領を幕府が管理して御家人に給与を支払う。
- 問3 鎌倉時代、紀伊国の阿呂河荘において、農民たちが「ミミヲキリ、ハナヲソギ（耳を切り、鼻をそぎ）」と脅されるなどの不法行為や、過酷な労役を課されたことを幕府に訴えた際、その訴えの対象となった職は何か。 (2023年 青森県公立入試 類似)

1. 守護

2. 地頭

3. 管領

4. 六波羅探題
- 問4 鎌倉時代の政治体制において、北条泰時が御成敗式目を制定した目的やその内容について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)

1. 元の襲来に備えて、御家人たちの団結を強めるための軍事的な規則を定めるため。

2. 朝廷が定めた律令制度をより厳格に守らせ、貴族と武士の身分を明確にするため。

3. 武士社会でそれまで行われてきた慣習を整理し、公平な裁判の基準を示すため。

4. 江戸幕府が開かれた際に、大名を統制するために出された領地管理法を参考にするため。
- 問5 平安時代初期に唐から帰国して真言宗を開いた人物と、鎌倉時代に踊り念仏を通じて民衆に教えを広めた一遍や、法華經の題目を唱えることを説いた日蓮などの人物を時代ごとに分類する際、平安時代に分類される人物として正しいものを選びなさい。 (2022年 福島県公立入試 類似)

1. 空海

2. 一遍

3. 日蓮

4. 親鸞
- 問6 鎌倉時代の後半、御家人の生活が困窮し、領地を質に入れたり売却したりする者が増えた理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 山口県公立入試 類似)

1. 永年私財法が廃止されたことで、開墾した土地をすべて国に返還したから

2. 分割相続の繰り返しで領地が細分化されたうえ、元寇による軍役の負担が重なったから

3. 単独相続の導入によって、一族の中で領地をもらえない者が続出したから

4. 幕府が貨幣経済を禁止したため、年貢を売って現金を得ることができなくなったから
- 問7 鎌倉時代の文化は、武士の力強さや民衆への宗教の普及を背景に、現実を直視する写実的な傾向が強まりました。この時期の文学作品である『方丈記』の説明として、当時の社会状況と関連付けたものとして最も適切な記述はどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)

1. 室町幕府の保護を受け、観阿弥・世阿弥親子が猿楽を芸術性の高い舞台芸術へと高めた。

2. 国風文化の影響を受け、かな文字を用いて貴族の華やかな宮廷生活を情緒的に記した。

3. 相次ぐ戦乱や飢饉による社会不安を背景に、世の中の無常さを簡潔な文章で記した。

4. 千利休が確立した、簡素で静かな精神を重んじる「わび茶」の作法について記した。
- 問8 鎌倉幕府の組織において、將軍の補佐役として政務を統括し、次第に幕府の実権を握るようになった役職を「執権」と呼びます。この役職を代々独占し、政治を動かした一族を選びなさい。 (2021年 秋田県公立入試 類似)

1. 源氏

2. 足利氏

3. 平氏

4. 北条氏
- 問9 13世紀、モンゴル帝国の皇帝フビライ・ハンが日本に対して2度にわたる大規模な遠征を行った背景や経緯について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2020年 山形県公立入試 類似)

1. 元が日本に対して服属を求めたのに対し、鎌倉幕府の執権であった北条時宗がこれを拒否したため。

2. チンギス・ハンが日本を黄金の国ジパングと呼び、領土拡大の最初の目標に設定したため。

3. 日本が南宋を支援して元に宣戦布告したため、フビライ・ハンが報復として兵を送ったため。

4. 元と結んだ足利尊氏が、後醍醐天皇の軍勢を討伐するために援軍を要請したため。
- 問10 鎌倉時代に東大寺南大門が再建された背景や、その文化的な意義について述べた文として正しいものはどれですか。 (2022年 大分県公立入試 類似)

1. 国風文化の伝統を守るため、平安時代の建築様式を忠実に再現することを目指した。

2. 大陸との貿易を独占した足利義満が、自らの権威を誇示するために建立した。

3. 平氏の焼き討ちにあった東大寺を、武士の力強さを象徴する場として復興させた。

4. 浄土信仰が広まる中で、貴族たちが死後の安楽を祈願して私財を投じ制作させた。
- 問11 13世紀、モンゴル帝国の第5代皇帝に即位して国号を元と定め、都を大都（現在の北京）に移した人物は誰ですか。この人物は、それまで日本と貿易を行っていた南宋を滅ぼして中国全土を支配し、日本に対しても2度にわたる武力侵攻を行いました。 (2020年 熊本県公立入試 類似)

1. チンギス=ハン

2. マルコ=ポーロ

3. オゴタイ=ハン

4. フビライ=ハン
- 問12 武士による支配の仕組みが整えられた中世において、將軍が御家人を「地頭」に任命した主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)

1. 寺社や貴族の土地をすべて没収し、御家人に新しい農法を普及させるため

2. 国ごとに御家人を配置し、裁判や軍事的な警察権限を完全に行使させるため

3. 御家人に荘園や公領の管理、および年貢の徴収を行わせることで、その領地の支配を認めるため

4. 朝廷から受け取った官位を御家人に分け与え、政治的な権威を高めるため
- 問13 フビライ=ハンが都を大都に移し、国号を「元」と定めた歴史的な背景や目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 大阪府公立入試 類似)

1. キリスト教を国教として採用し、ヨーロッパ諸国との連携を強化するための拠点とするため。

2. モンゴルの伝統的な遊牧生活を完全に捨て、純粋な中国式の農耕国家へと移行するため。

3. 日本の鎌倉幕府と軍事同盟を結び、東南アジアの諸島部を共同で支配する拠点とするため。

4. 中国の優れた統治制度を取り入れつつ、内陸の交易路と海の道を統合して世界規模の帝国を支配するため。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 源義経との対立をきっかけに、朝廷から守護・地頭の設置を認めさせることで、各地の荘園や公領への影響力を確保した。	鎌倉幕府が全国的な支配権を確立する大きな転換点は、1185年の守護・地頭の設置にあります。これは源義経を捕縛するという名目で朝廷に認めさせたものであり、それまで貴族や寺社が所有していた「荘園」や、国司が管理していた「公領」に対して、幕府が任命した武士（御家人）が地頭として入り込むことを可能にしました。検非違使や押領使は平安時代からの官職であり、これとは区別する必要があります。
問2	答え 2 御家人が借金の担保として質に入れたり、売却したりした所領を、無償で取り戻させる。	幕府は困窮する御家人を救うため、売却したり質に入れたりした所領を無償で元の持ち主に返させる徳政令を出しました。しかし、これにより金銭の貸し借りができなくなるなど経済的な混乱を招き、かえって御家人の生活はさらに苦しくなり、幕府への不満が高まる原因となりました。
問3	答え 2 地頭	鎌倉時代において、現地に派遣されたこの職は次第に力を強め、貴族や寺社などの荘園領主の権利を侵したり、農民に対して不当な支配を行ったりするようになった。阿弔河荘の農民の訴状は、こうした地頭の横暴な振る舞いを示す代表的な事例である。
問4	答え 3 武士社会でそれまで行われてきた慣習を整理し、公平な裁判の基準を示すため。	北条泰時は、武士が理解しやすいように、それまでの武家社会の先例や道徳に基づいた内容を法制化しました。これにより、主従関係や土地の権利に関する争いを公平に解決し、幕府に対する御家人の信頼を高める狙いがありました。のちの室町・戦国時代の法にも大きな影響を与えています。
問5	答え 1 空海	平安時代初期、空海是最澄とともに唐に渡って仏教を学び、帰国後に高野山を拠点として真言宗を広めました。これに対し、一遍や日蓮、親鸞などは鎌倉時代に登場した「鎌倉新仏教」の開祖たちであり、それまでの貴族中心の仏教とは異なり、武士や民衆の救済を重視した活動を行ったという違いがあります。
問6	答え 2 分割相続の繰り返しで領地が細分化されたうえ、元寇による軍役の負担が重なったから	御家人が困窮した背景には、領地が代替わりごとに小さくなる分割相続という制度上の問題がありました。そこへ、元寇（蒙古襲来）での防衛戦による出費が重なり、さらに恩賞として与える土地も不足していたため、御家人の生活は立ち行かなくなりました。幕府はこうした御家人を救済するために、借金を帳消しにする徳政令を出すこととなります。
問7	答え 3 相次ぐ戦乱や飢饉による社会不安を背景に、世の中の無常さを簡潔な文章で記した。	鎌倉時代は平氏の滅亡や承久の乱といった戦乱に加え、大火や飢饉などの災害が続きました。鴨長明はこうした混乱の中で『方丈記』を記し、固定された住まいを持たず小さな方丈（一丈四方の庵）で暮らす自身の生活を通して、変わりゆく世への無常観を表現しました。他の選択肢は、平安時代の国風文化、室町時代の東山文化、安土桃山時代の文化に関する内容です。
問8	答え 4 北条氏	鎌倉幕府では、初代将軍である源頼朝の死後、妻の政子の実家である北条氏が台頭しました。北条氏は将軍を助ける「執権」という役職に就き、有力な御家人を退けることで、実質的な政治の全権を掌握する執権政治を確立しました。
問9	答え 1 元が日本に対して服属を求めたのに対し、鎌倉幕府の執権であった北条時宗がこれを拒否したため。	フビライ・ハンは中国大陸の南宋を完全に征服する前に、日本を元の勢力圏に組み込もうとして、繰り返し使者を送って服属（朝貢）を迫りました。しかし、当時の鎌倉幕府の執権・北条時宗はこれらの要求を黙殺・拒否し、対戦の準備を進めたため、武力衝突である元寇へと発展しました。選択肢にあるチンギス・ハンは元の建国者ですが、日本遠征を指揮したのはフビライ・ハンです。
問10	答え 3 平氏の焼き討ちにあった東大寺を、武士の力強さを象徴する場として復興させた。	源平合戦の際、平重衡による南都焼討で東大寺の多くが焼失しました。その後の鎌倉時代において、幕府の全面的なバックアップを受けて再建が成し遂げられました。東大寺南大門の巨大さと力強さは、新しい時代の主役となった武士の精神性を反映したものと考えられています。
問11	答え 4 フビライ＝ハン	チンギス＝ハンの孫にあたる人物です。1271年に国号を「元」とし、1279年には南宋を完全に滅ぼして中国全土を統一しました。日本に対しては、鎌倉幕府の執権であった北条時宗が服従の要求を拒否したため、1274年（文永の役）と1281年（弘安の役）の2度にわたって九州北部に軍を送り込みました。
問12	答え 3 御家人に荘園や公領の管理、および年貢の徴収を行わせることで、その領地の支配を認めるため	将軍は御家人に対して、彼らの生活基盤である土地の支配権を保障する「本領安堵（ほんりょうあんど）」などの御恩を与えました。その具体的な手段の一つが、御家人を各地の「地頭」に任命し、土地の管理や年貢の徴収という実務的な権限を与えることでした。これにより、武士による地方支配が実質的に強化されていきました。
問13	答え 4 中国の優れた統治制度を取り入れつつ、内陸の交易路と海の道を統合して世界規模の帝国を支配するため。	フビライ＝ハンは、モンゴル人としてのアイデンティティを保ちながらも、中国の制度を巧みに利用して広大な領土を統治しようとしました。都を大都に置いたのは、草原の道やオアシスの道といった内陸の交易ルートと、南シナ海からインド洋に至る「海の道」を結びつける戦略的な意図がありました。これにより、元は東西の物資や文化が活発に行き来する国際的な帝国へと発展しました。